

各従業員コメントは今の仕事を通じて実現したい「最高のヨロコビ」を聞いたものです。



Vision 私たちのありたい姿

多様な力をひとつに、共に成長し、
変化をのりこえる会社になる。



「水素エネルギーを活用した タイヤ製造のお披露目会」を開催

当社は2021年8月から国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業として、水素活用に向けた実証実験を福島県白河工場で行うとともに、2023年1月からは太陽光発電と水素エネルギーを使用した日本初（当社調べ）の製造時（※Scope1,2）カーボンニュートラルを達成した量産タイヤ「AZENIS FK520」を生産しており、2023年4月に「水素エネルギーを活用したタイヤ製造のお披露目会」を開催しました。

お披露目会にはメディア・官公庁・メーカー・近隣自治会などの関係者をご招待し、水素ボイラーや水素トレーラー、実証実験を行う高精度メタルコア製造システム「NEO-T01」などを見学していただきました。今後は、製品ライフサイクル全体でのカーボンニュートラルを目指します。



左からNEDO 大平英二氏、当社社長 山本悟、
国立研究開発法人産業技術総合研究所 古谷博秀氏

※Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）
Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出



当社白河工場に設置している水素ボイラー



福島県内堀知事（左から2人目）と白河市鈴木市長（左から3人目）に対し、
水素ボイラーについて説明をする様子



当社従業員が考案したキャッチコピーをラッピングした水素トレーラー



水素プロジェクトのあゆみ

- 2020年以前 脱炭素で最大の課題となる加硫工程（電気では作ることができない高温高圧の蒸気）の脱炭素技術の検討を開始（電気加硫など）
- 2020年 多数ある加硫機の設備更新は高額になるため、設備コストを下げる可能性がある脱炭素エネルギー（水素など）の調査を開始
- 2021年 3月 水素の実証実験開始を社内で決定
NEDOの水素社会構築技術開発事業に応募
- 2021年 7月 NEDO助成事業への採択決定（7月28日に対外発表）
- 2021年 8月 白河工場で水素エネルギー実証実験をスタート
- 2021年12月 社内で「水素プロジェクト」発足
- 2022年 4月 白河工場で安全祈願祭（地鎮祭）を開催、水素関連設備工事が着工
- 2022年 7月 白河工場で関連設備として太陽光発電設備が着工
- 2023年 1月 白河工場で水素ボイラーと太陽光発電設備が完工、稼働開始
製造時カーボンニュートラル達成タイヤを製造開始（Scope1,2）
- 2023年 4月 白河工場で水素関連設備のお披露目会を実施
白河工場実証実験は2024年3月まで実施予定

資本コストを意識した ポートフォリオ最適化経営で、 さらなる収益性向上を。

代表取締役 社長 **山本 悟**



一 第132期上半期の概況について

当第2四半期連結累計期間の経済環境は、インフレとウクライナ情勢による経済成長への懸念が見られたほか、為替や物価の動向など不確実性の高い状況が続きました。当社グループを取り巻く情勢につきましては、エネルギーコストの上昇や、半導体不足による自動車生産減少の影響が続いていますが、一方で海上輸送コストは昨年と比較して大きく低下し、原材料価格高にも一服感が見られるようになりました。このような中、当社グループは2027年を目標年度として策定した中期計画の実現に向けて経営基盤強化を目指す全社プロジェクトを強力に推進するとともに、顧客ニーズに対応した高性能商品を開発・増販するなど、競争力の強化にグループを挙げて取り組みました。この結果、当社グループの業績は売上収益は増収、事業利益は増益となりました。（詳細は右記「連結財務ハイライト」をご覧ください。）

一 事業別の状況について

タイヤ事業においては、国内新車用タイヤは、自動車生産減少の影響が残るものの、足元の販売は前年同期を上回っています。国内市販用タイヤは、冬タイヤが好調だったことに加え、夏タイヤでも値上げ前の仮需要を取り込み、前年同期を上回りました。海外新車用タイヤは、新型コロナウイルスの影響による落ち込みから回復した地域が多く、前年同期を上回りました。海外市販用タイヤは、アジア・大洋

州地域では中国でのゼロコロナ政策の撤廃もあり販売が徐々に回復し、前年同期を上回りました。一方、東南アジアは総じて市況が低調で、前年同期を下回りました。欧州ではインフレ影響もあって需要が鈍化し、冬タイヤが暖冬で低調だったこともあり、販売は前年同期を下回りました。米州地域では、北米で低採算品の販売を抑制したため北米全体では前年同期を下回りましたが、主力のファルケンブランドタイヤはワイルドピークシリーズなどが好調で前年同期を上回りました。南米は旺盛な需要を背景に堅調を維持しました。この結果、売上収益・事業利益ともに前年同期を上回りました。

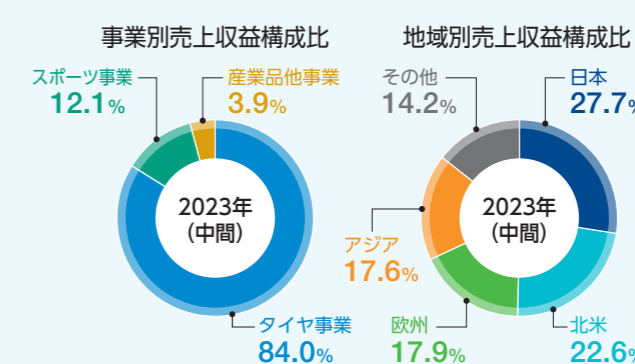
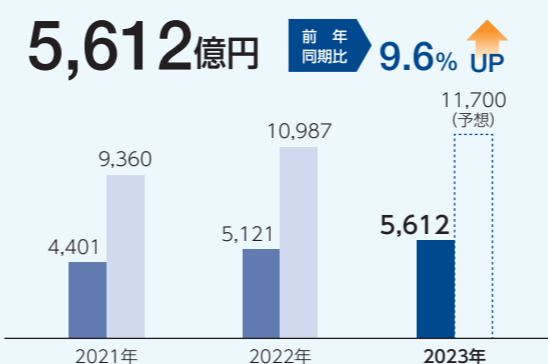
スポーツ事業においては、ゴルフ用品は北米・韓国など海外を中心に好調な販売を維持し、テニス用品も欧州を中心に好調で、売上収益は前年同期を上回りました。ウェルネス事業でも値上げ効果や新規総合店の開店などで、前年同期を上回りました。この結果、スポーツ事業全体としても売上収益・事業利益ともに前年同期を上回りました。

産業品他事業においては、使い切りゴム手袋やOA機器用ゴム部品の需要減退などがあった一方で、医療用ゴム製品やインフラ事業などで販売を伸ばしました。この結果、売上収益・事業利益ともに前年同期を上回りました。

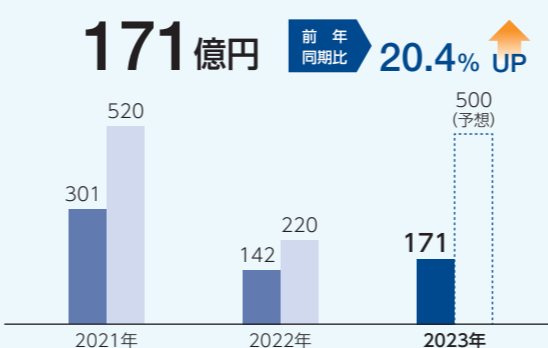
決算短信・説明会情報は、当社ウェブサイトにてご覧いただけます。
<https://www.srigroup.co.jp/ir/library/archive/index.html>

(注) 当社グループは、財務情報の国際的な比較可能性向上と、経営管理の品質向上のため、2016年12月期より国際会計基準 (IFRS) を適用しております。また、記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。

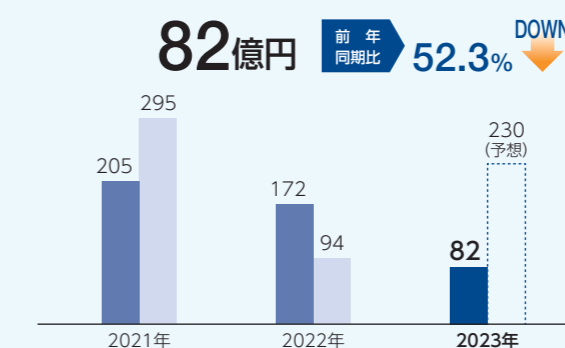
売上収益 (億円)



事業利益 (億円)



親会社の所有者に帰属する四半期利益 (億円)

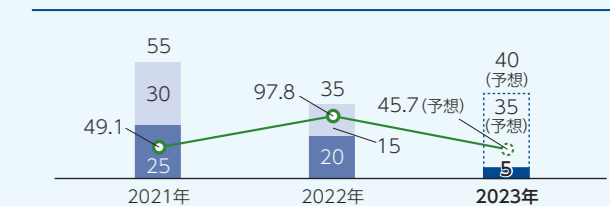


業績予想 (億円)

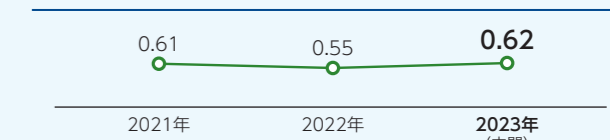
	2021年 通期実績	2022年 通期実績	2023年 通期予想
売上収益	9,360	10,987	11,700
事業利益 ^{*1} (率)	520 (5.6%)	220 (2.0%)	500 (4.3%)
営業利益 (率)	492 (5.3%)	150 (1.4%)	410 (3.5%)
当期利益 ^{*2}	295	94	230

※1 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しており、日本基準の営業利益に概ね相当します。当社の業績を評価する上で有用な情報であると考え、追加的に開示しております。
 ※2 親会社の所有者に帰属する当期利益は、日本基準の親会社株主に帰属する当期純利益にあたります。

配当金 (円)・配当性向 (%)



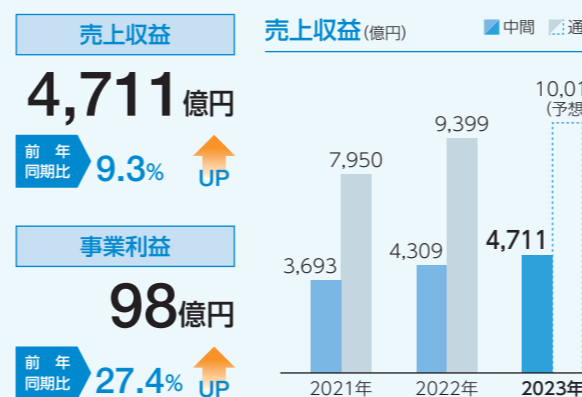
PBR (倍)



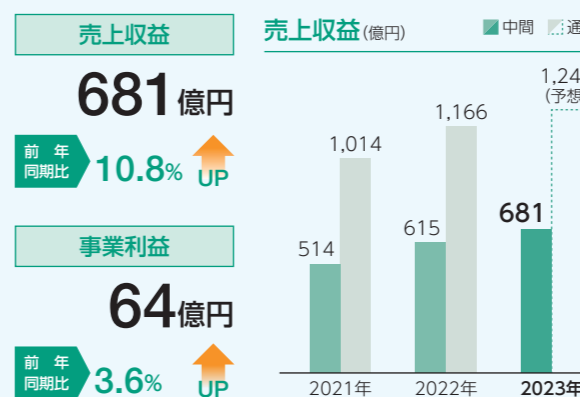
HIGHLIGHTS BY BUSINESS

事業別ハイライト

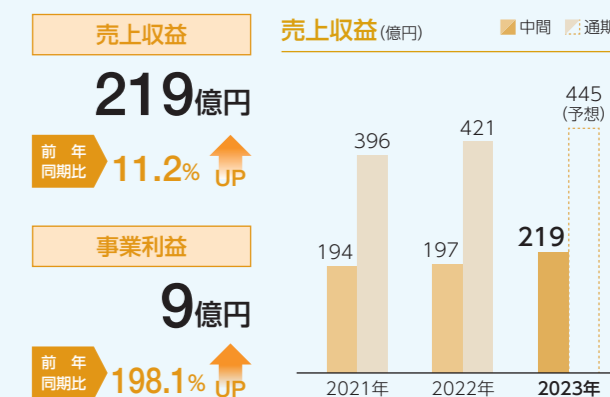
タイヤ事業



スポーツ事業



産業品他事業



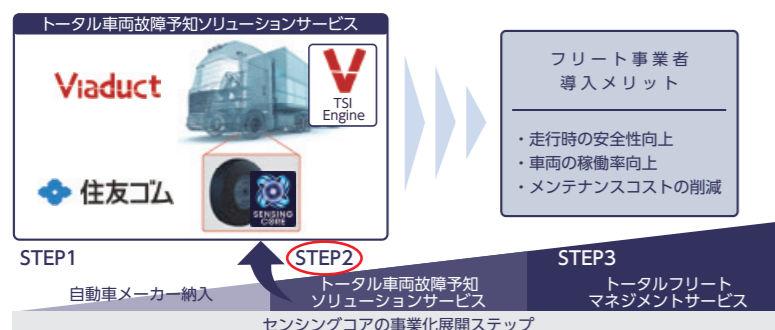
タイヤ事業 TOPICS

米・車両故障予知会社のViaduct (バイアダクト) 社と『センシングコア』の共同実証実験を開始

住友ゴム工業 (株) は、トータルフリートマネジメントサービスの実現を加速すべく、AIを活用した車両故障予知ソリューションサービスを提供する米国のベンチャー企業であるViaduct Inc. (以下「Viaduct社」と) 共同実証実験をこのほど開始しました。

実証実験では、Viaduct社の車両故障予知ソリューションサービスと、当社独自のセンサーレスのセンシング技術『センシングコア』を組み合わせることで、タイヤに加え、エンジンやブレーキなどを含めた車両全体の状況をリアルタイムで把握することを目指します。これにより、走行時の安全性向上、車両の稼働率向上やメンテナンスコストの削減が期待できます。

これまでも当社のソリューションビジネスでは種々の実証実験を実施してきましたが、北米で200万台以上の車両へのサービス提供実績を持つViaduct社開発のインターフェース「TSIエンジン」と、当社の「タイヤの摩耗検知技術」の連携を通じて、より高度なトータル車両故障予知ソリューションサービスの展開に繋がります。



スポーツ事業 TOPICS

スリクソンシリーズがメジャー5勝目をサポート ブルックス・ケプカ選手、「全米プロゴルフ選手権」3度目の制覇!

当社とゴルフ用品の使用契約を締結しているブルックス・ケプカ選手 (米国) が、2023年5月にオークヒルCC (米国・ニューヨーク州) で開催された米男子ツアーメジャー大会の「全米プロゴルフ選手権」で優勝しました。

ケプカ選手は2018年・2019年にも同大会で優勝しており、今回で3度目の制覇となりました。また、メジャー大会での優勝は5回目となります。



ブルックス・ケプカ選手の当社使用ギア

ボール: スリクソン Z-STAR ◆ (ダイヤモンド)
 ドライバー: スリクソン ZX5 Mk II LS
 アイアン: スリクソン ZX7 Mk II (#4~#9)
 ウェッジ: クリーブランド (46°)、クリーブランド RTX 6 ZIPCORE (52°・56°・60°)
 キャディバッグ: スリクソン (GGC-S186L)
 アンブレラ: スリクソン

※ 契約選手はカスタマイズされたギアを使用している場合があります。

スポーツ事業 TOPICS

みんなに愛される「ファミちゃん」がテニスプレーヤーに (株) ファミリアとのコラボアイテムを数量限定発売



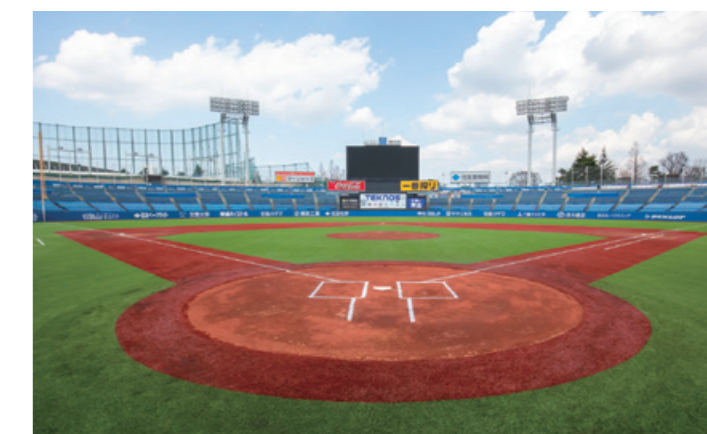
ベビー・子ども関連アイテムの製造・販売を行う (株) ファミリアとダンロップとのコラボレーションアイテムを、ダンロップスポーツ公式オンラインストアおよびダンロップクラブハウス梅田店などで2023年6月14日から数量限定で販売を開始しました (※)。本コラボレーションは、「スポーツを通して子どもたちの成長をサポートしたい」という両社共通の想いのもと実現。(株) ファミリアのオリジナルキャラクター「ファミちゃん」がテニスを楽しんでいる様子をデザインで表現し、テニスをより身近に感じていただけるようなアイテムを企画しました。サーブを打つ姿など、テニスプレーヤーならではのフォームにこだわった「ファミちゃん」がポイントです。

※ファミリアオンラインショップ、神戸本店、代官山店でも一部アイテムの販売があります。また、ファミリアのみで販売する商品もあります。詳細はファミリア公式ホームページをご確認ください。

産業品他事業 TOPICS

「ハイブリッドターフExciting」では2回目 神宮球場グラウンド 人工芝張替工事3回目を実施

2023年2月、ロングパイル人工芝「ハイブリッドターフExciting」での神宮球場(明治神宮野球場)グラウンド 人工芝張替工事を実施しました。同球場へのハイブリッドターフ採用は2008年・2015年に続く3回目となります。前回に続いて採用された「ハイブリッドターフExciting」は、良好なプレイ感を当社従来品よりも持続させるため、材料や形状を一から見直し、耐久性を2倍に高めています。さらに充填材(チップと目砂)の配合改良・直毛芝葉の採用などで天然芝により近い触感を実現し、選手の体への負担軽減・維持管理のしやすさにも配慮しています。「ハイブリッドターフ」シリーズは、総合性能が高く評価され、全国のスポーツ施設で採用されており、販売開始以来の施工実績は約750万平方メートル(2000年~2022年末累計)となります。





ENVIRONMENT

白河工場が『第11回みどりの社会貢献賞』を受賞

当社の白河工場は、操業開始以来約50年にわたり、「自然との調和」「公害を出さない」「地域との密着」のスローガンのもと緑化推進活動や地域社会貢献活動を行っています。今回、それらの活動が評価され、緑地の良好な管理運営等を通じ地域社会への貢献や環境改善等に顕著な功績のあった企業緑地とその活動を表彰する『第11回みどりの社会貢献賞』(公益財団法人都市緑化機構主催)を受賞しました。

受賞で評価された白河工場の取り組み

緑化推進活動

里山「GENKIの森」の健康的な森づくりや工場で育てた苗木の提供、赤面山への植樹など工場敷地内での緑化活動にとどまらず、地域のみどりに関する活動にも積極的に取り組んでいます。また、「GENKIの森」は、地域の方々への開放に向けて整備を進めています。



赤面山植樹活動 (福島県主催)

生物多様性の保全

工場処理水を活用したビオトープでは、蛍を育てています。また、絶滅危惧種であるアサザやカタクリ群生地など工場敷地内に自生する植物の保護にも努めています。



工場処理水を活用したビオトープ

地域社会貢献活動

市内幼稚園への蜂誘引器の設置、ふくしま海ごみ削減プロジェクト参加、白河市や交通遺児激励基金への寄付、スポーツ大会の主催などを通じ交流を深め、地域の方々へ愛される工場を目指しています。



幼稚園に蜂誘引器を設置

地球温暖化への配慮

次世代エネルギーとして期待されている水素活用に向けた実証実験や従業員駐車場にカーポート型太陽光発電パネルを設置するなどカーボンニュートラル化に向けた取り組みを進めています。



従業員駐車場の太陽光発電パネル

SOCIAL

「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業」(ミモザ企業)に認定

当社では、企業理念体系「Our Philosophy」において、“Vision”「多様な力をひとつに、共に成長し、変化をのりこえる会社になる」を目指す姿として掲げ、ダイバーシティ&インクルージョン (D&I) を経営上の重要課題と位置づけています。そのなかでも、女性活躍の推進については重点的に取り組んでおり、「キャリア意識の形成」、「両立支援」、「風土醸成・相互理解促進」の3つの分野で取り組みを進めています。

具体的には、次世代女性リーダー育成を見据えた「メンター制度」や、男性育児参画や育児と仕事の両立を支援する種々の施策の積極的な展開、D&I情報発信キャラクター「チャボ」を活用した社内外への広報活動強化などに取り組んでいます。

こういった取り組みが認められ、2023年3月、兵庫県・神戸市合同で発足された「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業認定」にてミモザ企業認定を受けました。この認定では、「企業の取組姿勢」、「キャリア形成支援」、「女性の登用促進」、「女性が働きやすい環境づくり」の4カテゴリで評価が行われます。

今後も多様な人の個性や価値観、働き方を認め合い、新しい発想やアイデアが生まれる風土を醸成することで、個人の成長、ひいては企業価値の向上につながる取り組みを推進していきます。



ミモザをあしらった当社D&I情報発信キャラクター「チャボ」



活動内容

ESG経営推進に関する当社グループの詳しい活動内容につきましては、「統合報告書2023」にも記載しています。



CORPORATE PROFILE / STOCK INFORMATION

会社 / 株式情報

会社の概要

(2023年6月30日現在)

- 創業 1909年10月4日
- 資本金 42,658,013,576円
- 従業員 7,783名
- 本社 神戸市中央区脇浜町三丁目6番9号
電話078-265-3000(代表)
- 東京本社 東京都江東区豊洲三丁目3番3号
豊洲センタービル
電話03-5546-0111(代表)
- 工場
〈タイヤ事業〉 白河・名古屋・泉大津・宮崎・インドネシア・中国(常熟・湖南)・タイ・ブラジル・南アフリカ・トルコ・米国
〈スポーツ事業〉 市島・宮崎・インドネシア・フィリピン・タイ・米国
〈産業品事業〉 加古川・泉大津・マレーシア・中国(中山)・ベトナム・スイス・スロベニア

株主メモ

- 事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会 毎年3月開催
- 基準日 定時株主総会 毎年12月31日
期末配当 毎年12月31日
中間配当 毎年6月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 公告の方法 電子公告。ただし、不測の事態により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
- 公告掲載URL <https://www.srigroup.co.jp/>
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行(株)
- 株主名簿管理人事務取扱場所 三井住友信託銀行(株) 証券代行部
- 郵便物送付先および電話照会先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行(株) 証券代行部
☎0120-782-031(フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)



ウェブサイトのご案内

当社ウェブサイトでは、IR情報や決算情報をはじめとした情報開示を行っています。



株式等の状況はこちらからご覧いただけます。